

重点を置いて学習し、 消防と警察の「共通点」を探ろう

宗實直樹 | 関西学院初等部

1. 単元全体をデザインする

●消防署と警察署の重点の置き方

①	消防署	緊急の対処 5時間	未然の防止 5時間	
	警察署	緊急の対処 5時間	未然の防止 5時間	
②	消防署	緊急の対処 7時間		未然の防止 2時間
	警察署	緊急の対処 1時間	未然の防止 4時間	▶消防署のしごと 重点を置く

3年生「地域の安全を守る」単元では、消防と警察それぞれの「緊急の対処」「未然の防止」について学習します。その際、どちらも同じように扱わずにどちらかに重点を置いて学習することが重要です。例えば、上図②のように消防のしごとは「緊急の対処」を中心に、警察のしごとは「未然の防止」を中心に学ぶ時間配分にします。

また、消防と警察どちらかの内容を重点的に学ぶようにします。例えば、②では消防のしごとの学習に重点を置いています。事例は違いますが、同じ内容（「緊急の対処」「未然の防止」）を学ぶ警察のしごとの時間配分をコンパクトにします。そうすることで、①よりも短い時間で効果的に学習することができます。

2. 消防と警察のしごとの単元計画

例えば、次のような学習計画が考えられます。

●3年生「安全なくらしを守る」(消防)

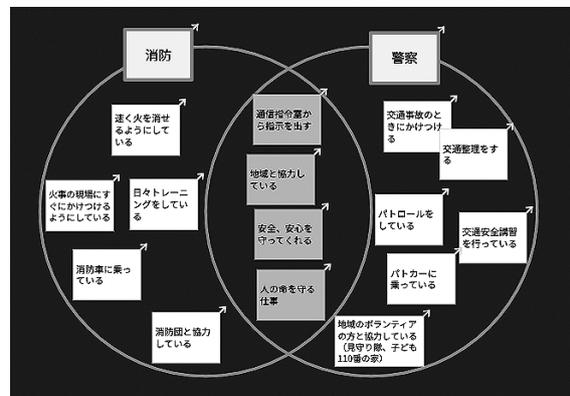
1	消防署の人たちは、どのようにして火事から人々を守っているのだろうか？(単元の問い)
2	119番はどのようにつながるのだろうか？ ▶なぜ消防車は約5分以内に現場に到着できるのだろうか？
3	消防署の中はどのようになっているのだろうか？ ▶なぜ消防署の人たちはすぐに出勤できるのだろうか？
4	どのようにして火を消しているのだろうか？ ▶なぜ火を確実に安全に消すことができるのだろうか？
5	火を消す時にどのように協力しているのだろうか？ ▶なぜ関係機関と協力する必要があるのだろうか？
6	まちの中にはどのような防火施設を配置しているのだろうか？ ▶防火施設は、なぜまんべんなく配備されているのだろうか？
7	どのようにして地域の人々と協力しているのだろうか？ ▶消防署があるのになぜ消防団が必要なのだろうか？

●3年生「安全なくらしを守る」(警察)

1	警察署の人たちは、事故を減らすためにどのような取組をしているのだろうか？(単元の問い)
2	警察署の人は、事故を防ぐためにどのようなものを設置しているのだろうか？ ▶なぜ信号機の右側が赤色なのだろうか？
3	警察署の人は、事故を防ぐためにどのようなことをしているのだろうか？ ▶なぜ事故や事件がないのを見回りをしているのだろうか？
4	警察署の人は、事故を防ぐために地域の人たちとどのような協力をしているのだろうか？ ▶警察署や交番があるのになぜ子ども110番の家があるのだろうか？
5	それでも事故や事件が起きた時、警察署の人たちは、どのように対処しているのだろうか？ ▶なぜ関係機関と協力する必要があるのだろうか？

3. 単元末に一般化を図る

消防と警察、どちらも学習した後にそれぞれを比較し、整理することで一般化を図ります。例えばベン図を使った整理は次のようになります。相違点と共通点が見えてきます。



消防と警察、仕事内容は違いますが、どちらも協力して地域の安全を守ったり、命にかかわる仕事をしたりしているということは同じです。この共通点が、本単元で獲得したい概念となります。子どもたちが学習したことを整理し、話し合う活動を通して、概念を獲得していくことが重要です。獲得した概念をもって日常を過ごすことで、子どもたちは「安全」に関する社会的事象をより豊かに見るようになるでしょう。